



# IR (Institutional Research) におけるデータマネジメント

山形大学 学術研究院 教授(IR担当)

藤原 宏司

2020.1.23

IR初級人材育成研修会

### 自己紹介

### [Education]

- North Dakota State University Ph.D. in StatisticsM.S. in Applied Statistics
- Minnesota State University Moorhead B.A. in Mathematics
- Florida State University
  Graduate Certificate in Institutional Research

### [Professional Experience]

- Statistical Consulting Service, North Dakota State University Statistical Consultant RA
- Duluth Medical Research Institute, University of Minnesota Medical School Junior Scientist/Lab Statistician
- Office of Institutional Research and Effectiveness (OIRE), Bemidji State University & Northwest Technical College Research Analyst → Assistant Director
- <mark>2016年7月帰国、同年8月より現職</mark> 山形大学次世代形成評価・開発機構IR部門 (OIRE)



### 今日の内容

- IR (Institutional Research) とは?
- データマネジメントとは?
- 山形大学におけるデータマネジメント・分析例
- まとめ

# IR (Institutional Research) とは?



### IRとは? (1)

- IR (Institutional Research) とは、米国の大学で発展してきた、大学経営や教育改善を支援する機能
- IR関係者:様々なバックグラウンドを持つ教職員
  - IRの研究者、IRの実務担当者
  - 専門分野の例:
     教育学、言語学、社会学、倫理学、心理学、経営学、数学、公共政策学、薬学、統計学、情報科学、考古学、農学、etc.
- IR関連用語:同じ用語でも、人によって解釈が違う
  - ・ IRの定義
  - · 直接指標 vs. 間接指標(代表例:GPA)
  - リサーチ(Research)

## IRとは? (2)

IRの研究者

- ・ IRは「研究の対象」
- IRへの視点:外部から
- ・実践より組織論



広い視野からIRを見ているが、理想論になりがち

IR とは? IR実務担当者

- ・ IRは「自分の業務」
- IRへの視点:内部から
- ・ 実践を重視



どうしても現実(自分が やっていること)と比較

誰に聞くかで答えが異なります

### 米国におけるIRの「一般的」な定義

■ Saupe (1981)
Institutional research is research conducted within an institution of higher education to provide information which supports institutional planning, policy formation and decision making.



Institutional research is research. (訳:IRとは "research" である。)



IRにおける "research" の意味は?

### 「research」: 英語 → 日本語

- **Google 翻訳** 
  - → 研究、追求、探求、査読、攻究、リサーチ
- 他のオンライン英和辞典(上記に含まれないもの)
  - → 調査、捜索

### 【デジタル大辞泉(小学館)】

- 「研究」物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、 事実や真理などを明らかにすること
- 「リサーチ」調査、研究
- > 「調査」物事の実態・動向などを明確にするために 調べること

IRにおける "research" の意味は?



### 「research」: 米国の辞書

### **Merriam-Webster**



https://www.merriam-webster.com/dictionary/research

### research

- careful or diligent search
- studious inquiry or examination

especially: investigation or experimentation aimed at the discovery and interpretation of facts, revision of accepted theories or laws in the light of new facts, or practical application of such new or revised theories or laws

 the collecting of information about a particular subject



### 「research」: 英国の辞書

### **Pearson Longman**

# research Word family (noun) research researcher (verb) research (noun) search research researcher (adjective) searching (verb) search research (adverb) searchingly From Longman Dictionary of Contemporary English Related topics: Education re-search¹/rɪˈsɜːtʃ, ˈriːsɜːtʃ \$-ɜːr-/ ••• S2 W1 AWL noun [uncountable] (also researches [plural] formal) ♠ ♠ 1 serious study of a subject, in order to discover new facts or test new ideas research into/on ♠ research into the causes of cancer ♠ Gould was helped in his researches by local naturalists. 2 the activity of finding information about something that you are interested in or need to know about ♠ It's a good idea to do some research before you buy a house.

### research

- serious study of a subject, in order to discover new facts or test new ideas
- the activity of finding information about something that you are interested in or need to know about

https://www.ldoceonline.com/dictionary/research

### IRにおける "research" の意味は?



米国IRオフィスの業務内容を確認

### 米国IRオフィスの主な業務内容

### PRIMARY RESPONSIBILITY

83% data reporting – federal mandatory (81% primary responsibility for IPEDS reporting)

81% data reporting – guide books/rankings

81% institutional fact books

80% data reporting – state mandatory

74% enrollment reporting and analyses

64% data sharing with consortia

53% key performance indicators development/monitoring

・ データレポーティング(連邦・州政府、大学執行部、ランキング対応、コンソーシア等)



- ファクトブック作成
- · 入学生·在学生分析
- ・ KPI設定・モニタリング

情報収集&レポーティング

Data: Swing et al. (2016)



# Saupeの定義を意訳すると

- Saupe (1981)
  Institutional research is research conducted within an institution of higher education to provide information which supports institutional planning, policy formation and decision making.
- <u>意訳(大学関係者向け)</u> IRとは、計画立案支援、政策形成支援、意思決定支援 に資する情報提供を目的とした、学内外データの 収集・分析(活動/機能)のこと。

# 山形大学が目指すIR

# データマネジメントとは?



### データマネジメントとは?

- **■** データマネジメント ≅
  - 分析に必要なデータを準備すること
  - · 分析に必要なデータを将来に備えて整理すること
- 効率的なデータ分析には、 高品質なデータを手際よく準備することが必要
  - ・ データ分析の例:データ集作成、退学者の特徴分析
  - 高品質なデータ: エラーが少ない(i.e., 鈴木 達哉 vs. 鈴木 達哉)
  - 手際よく準備 : データを分析可能な状態にする (i.e., データ変形)

# データ変形 (Reshaping Data)

■ データ形式の種類

ワイド型:横に長く、直感的に理解しやすい

ロング型:縦に長く、分析ソフト等で扱いやすい場合が多い

ワイド型の例					
ID#	性別	英語	数学		
001	女性	95	80		
002	男性	78	86		



ロング型の例					
ID#	性別	科目	点数		
001	女性	英語	95		
001	女性	数学	80		
002	男性	英語	78		
002	男性	数学	86		

→ 必要に応じて、 データ形式を互いに変形できるスキルが必要

# Data Life Cycle & DMA

### ①分析計画策定

データ所在確認 

データ収集

### <u>②データ入力・加工</u>

- エラーチェック
- クリーニング
- データ加工
- データ変形

4保存・再利用

ドキュメンテーション

・ データ移行/共有

### ③データ集計・分析

- 集計・分析・解釈
- レポーティング

# 山形大学におけるデータマネジメント・分析例



### データマネジメント・分析の例

問:主要財務指標を用いて、同規模25大学との ベンチマークおよび経年変化を可視化したい

作業ステージ(DLC)	作業項目	作業内容・結果
①分析計画策定	データ所在確認	財務部がデータを保有
	データ収集	メール・電話にてデータ提供を依頼
		過去5年分のデータを入手(5つのファイル)
②データ入力・加工	エラーチェック	エラー無
	クリーニング	データ項目のフォーマットを統一
	データ加工	大学名から「大学」の部分を削除
		大学を所在地順にソートするためのキーを追加
		%表示させるために、数値を加工
		過去5年分のデータを結合 → ロング形式で保存
	データ変形	レーダーチャートには、ワイド形式のデータが必要
		なため、ワイド形式のデータを準備
③データ集計・分析	集計・分析・解釈	Power BIを使ってデータを可視化
	レポーティング	役員会で報告
④保存・再利用	ドキュメンテーション	次年度のデータ分析に備えて、
		作業内容をドキュメント化
	データ移行/共有	このプロジェクトでは不要

# データの流れ(結合・加工・変形・可視化)



## Power BI × 棒グラフ



写真やビデオ撮影はご遠慮ください。

### Power BI × レーダーチャート(1)



写真やビデオ撮影はご遠慮ください。

### Power BI × レーダーチャート(2)



写真やビデオ撮影はご遠慮ください。

### ドキュメンテーション(作業手順の記録)

■ 作業手順を記録しておくと、 次年度以降の作業が楽になります。

参考(になるか分かりませんが…)

# まとめ



### IRとデータマネジメント

- **IRとは学内外データの収集・分析機能**
- データマネジメント ≅
  - 分析に必要なデータを準備すること
  - 分析に必要なデータを<mark>将来に備えて整理</mark>すること
- → IRを<mark>効率的</mark>に機能させるには、 データマネジメントの技術が必要
  - Data scientists spend around 80% of their time on preparing and managing data for analysis<sup>1</sup>.

### おまけ

研究業績数調査(H28-H30)

査読付き論文数     外国語       その他の論文数     日本語       外国語     日本語       学術図書     日本語       作品等     作品等		T	1		I	1
査読付き論文数     外国語       その他の論文数     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語       作品等     日本語 外国語       その他の論文数     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語       作品等     日本語 外国語       理学系     査読付き論文数       日本語 外国語     日本語 外国語       その他の論文数     日本語 外国語       子の他の論文数     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語				平成28年度	平成29年度	平成30年度
大国語     日本語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       社会科学系     日本語       査読付き論文数     日本語       中本語     小国語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語       査読付き論文数     日本語       外国語     日本語       その他の論文数     日本語       外国語     日本語	人文科学系	本註分去於女物	日本語			
その他の論文数     外国語       学術図書     日本語       作品等     日本語       社会科学系     音読付き論文数       日本語     小国語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     音読付き論文数       日本語     小国語       その他の論文数     日本語       今国語     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語       今国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語		旦就刊で調文数	外国語			
外国語     日本語       社会科学系     査読付き論文数     日本語 外国語       での他の論文数     日本語 外国語       宇術図書     日本語 外国語       理学系     査読付き論文数     日本語 外国語       での他の論文数     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語       中本語 外国語     日本語 外国語		その他の論文数	日本語			
学術図書     外国語       作品等     日本語       社会科学系     日本語       その他の論文数     日本語       今相語     日本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語       香読付き論文数     日本語       外国語     日本語       今の他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語       外国語     日本語       中本語     日本語			外国語			
作品等       作品等       社会科学系     日本語       看読付き論文数     日本語       中国語     中本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語       看読付き論文数     日本語       子の他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語       外国語     日本語		学術図書	日本語			
社会科学系     査読付き論文数     日本語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語       査読付き論文数     日本語       クリ国語     日本語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       クリ国語     日本語       クリ国語     日本語       クリ国語     日本語       クリ国語     日本語			外国語			0.000
査読付き論文数     外国語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     査読付き論文数     日本語       その他の論文数     日本語       今国語     日本語       今別語     日本語       今別記     日本語       日本語     日本語<		作品等				
外国語       その他の論文数     日本語       労術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語     日本語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語       外国語     日本語       小国語     日本語       日本語     日本語 <td rowspan="6">社会科学系</td> <td rowspan="2">査読付き論文数</td> <td>日本語</td> <td></td> <td></td> <td></td>	社会科学系	査読付き論文数	日本語			
その他の論文数     外国語       学術図書     日本語       作品等     日本語       理学系     日本語     日本語       その他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語			外国語			
外国語       学術図書     日本語       理学系     音読付き論文数     日本語       各の他の論文数     日本語       大国語     日本語       大国語     日本語       外国語     日本語       分国語     日本語       分国語     日本語       分国語     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語		その他の論文数	日本語			
学術図書     外国語       作品等     日本語       理学系     日本語       合の他の論文数     日本語       今年語     日本語       今本語     日本語       学術図書     日本語       外国語     日本語       外国語     日本語			外国語			
外国語       理学系     白本語       査読付き論文数     日本語       子の他の論文数     日本語       学術図書     日本語       学術図書     日本語		学術図書	日本語			
理学系     百読付き論文数     日本語		) MAIL	外国語			
査読付き論文数     外国語       その他の論文数     日本語 外国語       学術図書     日本語 外国語		作品等				
外国語       その他の論文数       日本語 外国語       学術図書	理学系	査読付き論文数	日本語			
その他の論文数     外国語       学術図書     日本語       外国語     ・			外国語			
外国語       学術図書		その他の論文数	日本語			
学術図書  外国語			外国語			
外国語		学術図書	日本語			
作品等		7	外国語			
		作品等				

- みなさんだったら、どのように データ収集・マネジメントを 行いますか?
- 毎年、このような業務が 発生することを前提に 考えてみましょう。

# THANK YOU!

# ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp



### 参考資料

- 藤原宏司(2013)「米国におけるIR実践を通して考える日本型IR」, 大学評価コンソーシアム 勉強会『米国におけるIR実践を通して考える日本型IR 実施報告書』, 7-156.
- 藤原宏司(2017)「データマネジメントの必要性と実践」, 大学評価・IR担当者集会2017 講演資料.
- 藤原宏司, 浅野茂, 岡部康成, 白石哲也, 田中秀典, 山本幸一(2019)「教育効果の可視化とGPAについて」, 継続的改善のための IR/IEセミナー 発表資料.
- 藤原宏司(2019)「『IRとは何か?』〜基本に立ち返って考える、IRの役割について〜」,東北文化学園大学 IRセミナー「地方 大学におけるIR活動」 講演資料.
- Saupe, J. L. (1981). The functions of institutional research. Association for Institutional Research.
- Swing, R. L., Jones, D., and Ross, L. E. (2016). The AIR National Survey of Institutional Research Offices.

  Association for Institutional Research, Tallahassee, Florida.

